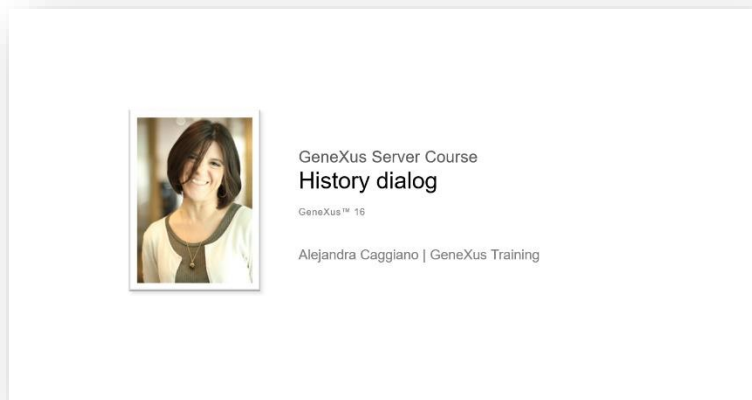


## 操作履歴のダイアログ



「チーム開発」ウィンドウにある「履歴」エレメントでは、実行されたすべてのコミットと、コミットに関連するオブジェクトが表示されます。表示されたオブジェクトについては、ローカル定義とサーバー定義の違いを比較できます。

チーム開発 ×

コミット | 更新 | アクティビティ | バージョン | 継続的インテグレーション | **履歴**

バージョン: WorldCup 検索:

#	コメント	ユーザー	コミット日時
4	TeamName定義の変更	Localadmin	2022年09月2
3	TeamNameの定義変更	Localadmin	2022年09月2
2	Countryトランザクションに新しい項目属性とルールを追加	Localadmin	2022年09月2
1	WorldCupは現在 GeneXus Server にホスティングされています	Localadmin	2022年09月2

---

#4 - 2022/09/21 18:00:22 - LocalAdmin

TeamName定義の変更

	名前	タイプ	デスクリプション	アクション
	TeamName	Attribute	Team Name	Modified

実際に比較結果を確認してみます。WorldCup KB に移動し、「チーム開発」ウィンドウにて「履歴」エレメントを選択します。

それでは、「履歴」エレメントの構造を確認していきましょう:

「バージョン」リストから、参照する KB バージョンを選択する必要があります。選択されたバージョンで行われたすべてのコミットを表示できます。

バージョン: WorldCup

#	WorldCup
4	

特定のコミットを選択すると、「実施日」、「ユーザー名」、「コメント」、「オブジェクトリスト」が表示されます。

チーム開発 ×

コミット | 更新 | アクティビティ | バージョン | 継続的インテグレーション | 履歴

バージョン: 

WorldCup

 検索:

#	コメント	ユーザー	コミット日時
4	TeamName定義の変更	Localadmin	2022年09月2
3	TeamNameの定義変更	Localadmin	2022年09月2
2	Countryトランザクションに新しい項目属性とルールを追加	Localadmin	2022年09月2
1	WorldCupは現在 GeneXus Serverにホスティングされています	Localadmin	2022年09月2

#3 - 2022/09/21 17:59:21 - LocalAdmin

TeamNameの定義変更

	名前	タイプ	ディスクリプション	アクション
	TeamName	Attribute	Team Name	Modified

コミットの履歴で利用可能な操作を見てみましょう

コミットを右クリックすると、実行可能な操作が表示されます。 利用可能な操作は、「バージョン」リストで選択したバージョンがローカルで表示しているバージョンと一致しているかどうかによって異なります。

・ここにある例のように、「バージョン」リストで選択したバージョンとローカルで表示しているバージョンが一致している場合、コミットされたオブジェクトのセットをエクスポートファイルとして作成することと、変更の取り消しにより、実行された変更をもとに戻すことが可能です。

チーム開発 ×

コミット | 更新 | アクティビティ | バージョン | 継続的インテグレーション | 履歴

バージョン: 

WorldCup

 検索:

#	コメント	ユーザー
4	TeamName定義の変更	Localadmin
3	TeamNameの定義変更	Localadmin
2	Countryトランザクションに新しい項目属性とルールを追加	Localadmin
1	WorldCupは現在 GeneXus Serverにホスティングされています	Localadmin

コミットからエクスポートファイルを取得  
変更を元に戻す

オブジェクトのリストで利用できる操作を見てみましょう。

3つのオプションがあります。

コミット | 更新 | 履歴 | アクティビティ | バージョン | 継続的インテグレーション |

バージョン: WorldCup 検索:

#	コメント	ユーザー	ニ
4	TeamName定義の変更	Localadmin	2
3	TeamNameの定義変更	Localadmin	2
2	Countryトランザクションに新しい項目属性とルールの追加	Localadmin	2
1	WorldCupは現在 GeneXus Serverにホスティングされています	Localadmin	2

#2 - 2022/09/21 17:57:28 - Localadmin

Countryトランザクションに新しい項目属性とルールの追加

	名前	タイプ	デスクリプション	アクション
	Country		Country	Modified
	CountryFlag		Country Flag	Inserted
	CountryName		Country Name	Modified

・「差分を表示」オプションでは比較用のウィンドウが開き、コミット前後のオブジェクトのステータスの詳細が表示されます。そのため、構造から違いを比較することができます。

Country[メモリ内オブジェクト] スワップ(S) Country[メモリ内オブジェクト]

#2 のコミット前 #2 のコミット後

Structure Web Layout Rules Events Events (without WorkWithPl... Variables Help Documentation Patterns Properties |

Ln 3

名前	タイプ	デスクリプション	名前	タイプ	デスクリプション
Country	Country	Country	Country	Country	Country
CountryId	Numeric(4.0)	Country Id	CountryId	Numeric(4.0)	Country Id
CountryName	VarChar(40)	Country Name	CountryName	Character(20)	Country Name
			CountryFlag	Image	Country Flag

・「履歴照会」オプションを使用すると、どのユーザーが特定の変更を行ったかなど、さまざまな情報を取得できます。



・[サーバーの履歴 表示] オプションを使用すると、オブジェクトが含まれているすべてのコミットの詳細を示す新しい画面を表示できます。

